

令和4年プログラム責任者アンケート 調査結果

令和4年プログラム責任者アンケート調査結果

<調査概要>

対象者：プログラム責任者

調査方法：厚生労働省から自記式質問票を送付。

回答を地方厚生局へ提出

調査期間：令和4年3月1日～令和4年3月31日

<回収状況>

回収数
797

<回答者が所属する病院の種別>

※このアンケート結果において、「臨床研修病院」とは、「大学病院以外の臨床研修病院」をいう

病院種別	人数	割合
大学病院	114	14.3%
臨床研修病院(基幹型兼協力型)	556	69.8%
臨床研修病院(基幹型)	85	10.7%
無回答	42	5.3%

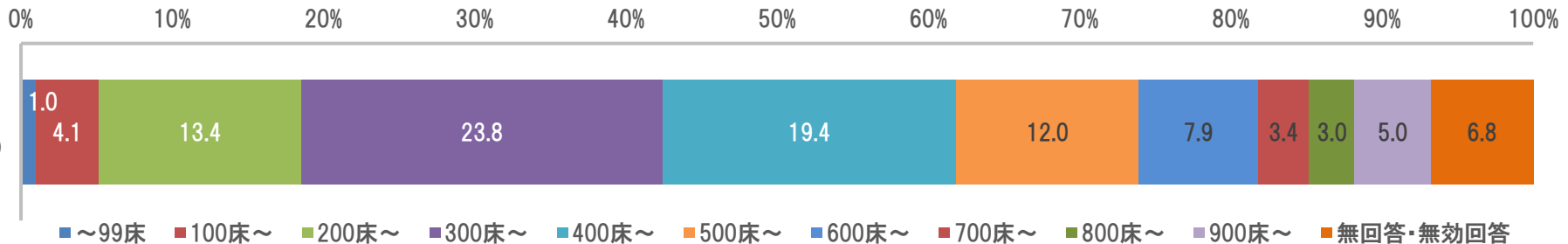
<回答者の性別>

性別	人数	割合
男性	740	92.8%
女性	48	6.0%
無回答	9	1.1%

<回答者の年齢>

年代	人数	割合
30代	5	0.6%
40代	114	14.3%
50代	383	48.1%
60代	268	33.6%
70代	8	1.0%
80代	0	0%
無回答	19	2.4%

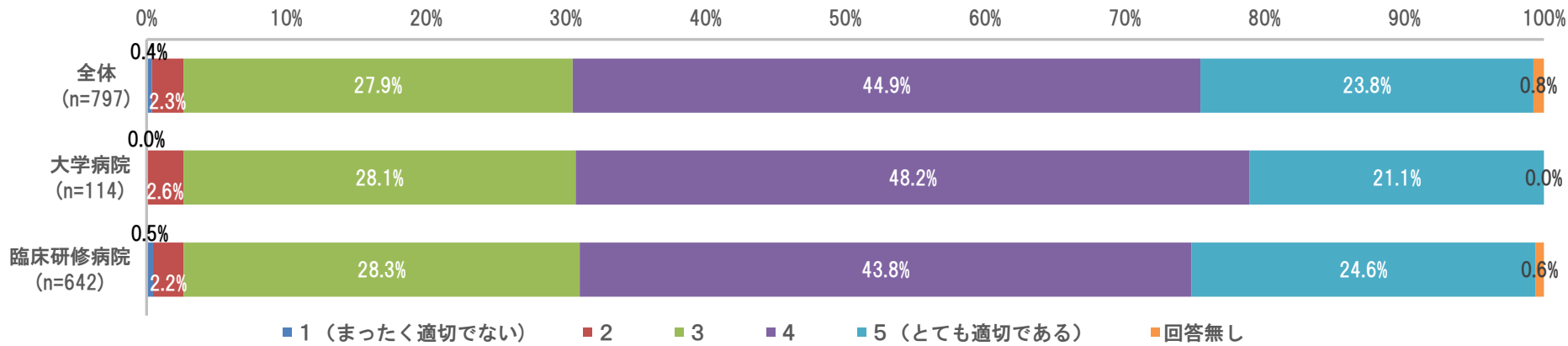
<回答者が所属する病院の許可病床数(総病床数)>



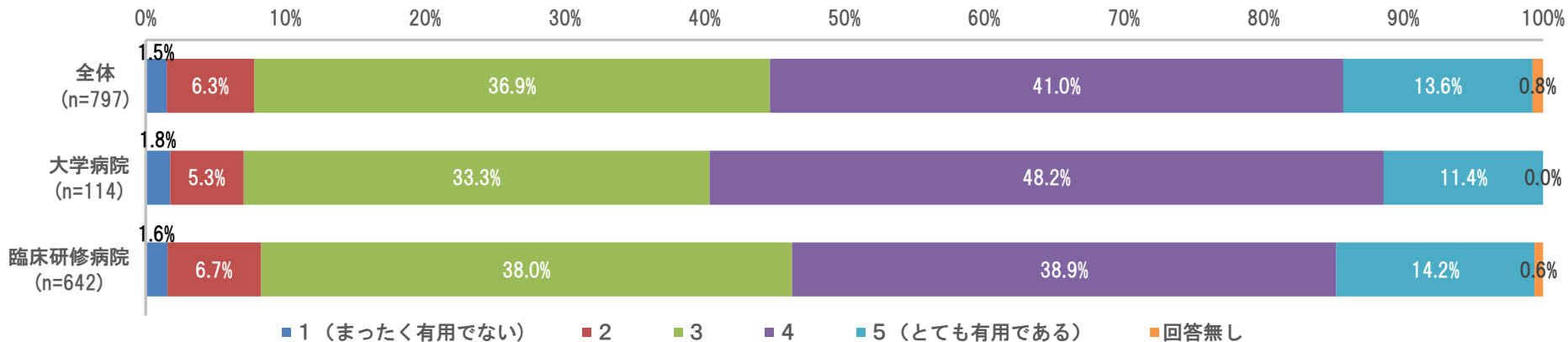
※このアンケート結果において、端数処理の関係で合計が100%にならない場合がある

令和2年度からの臨床研修制度見直しが研修医に与える影響について

「医師としての基本的価値観」は研修医の目標として適切か

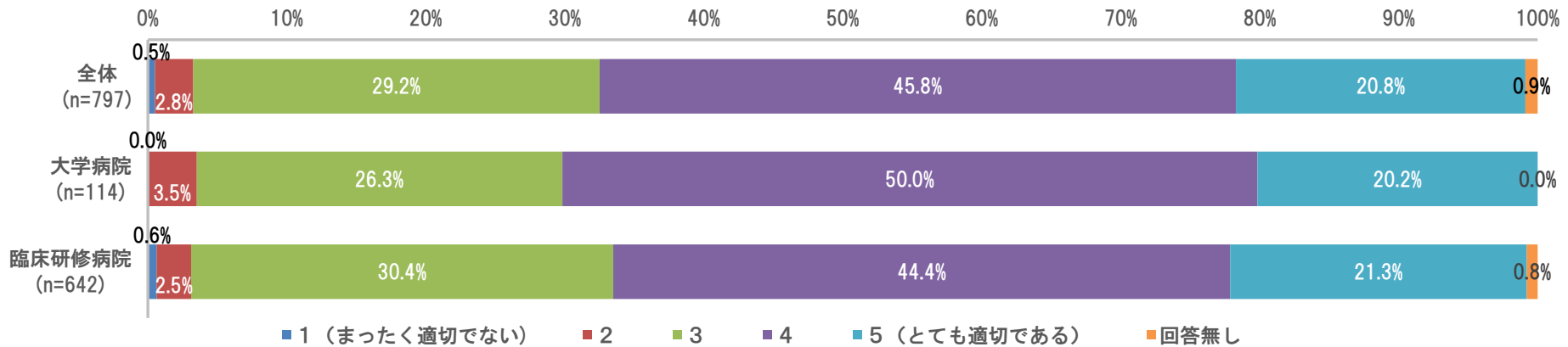


「医師としての基本的価値観」の評価票は研修医評価に有用か

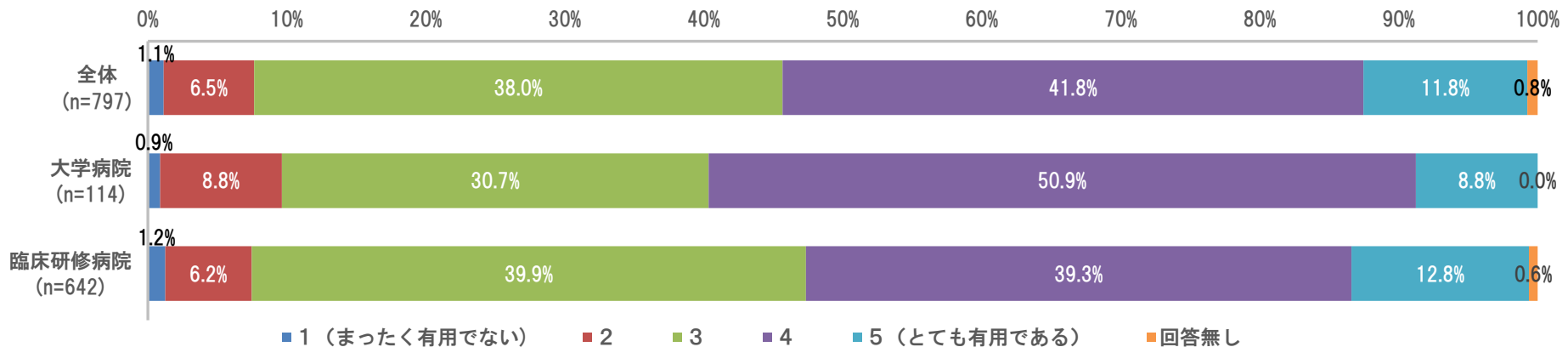


令和2年度からの臨床研修制度見直しが研修医に与える影響について

「資質・能力」は研修医の目標として適切か

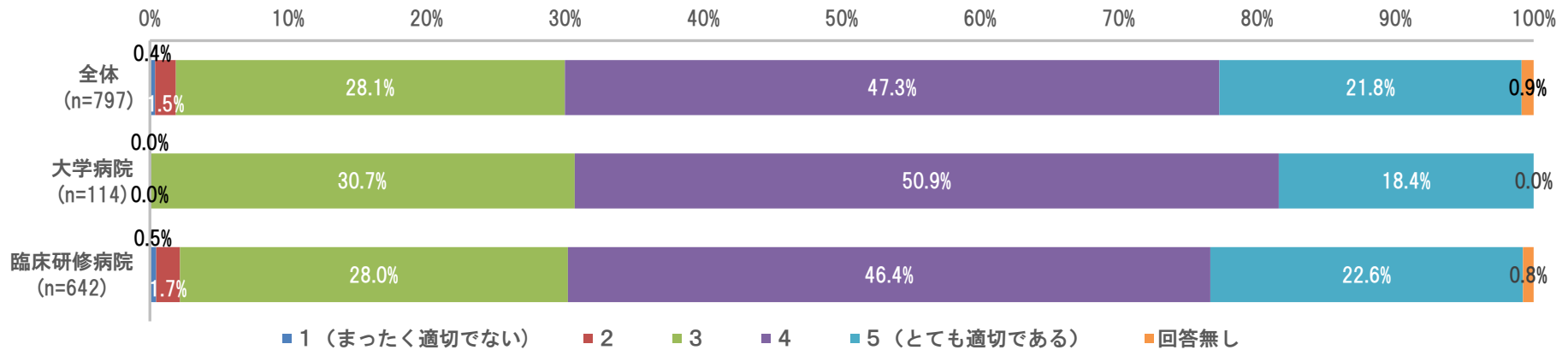


「資質・能力」の評価票は研修医評価の際に有用か

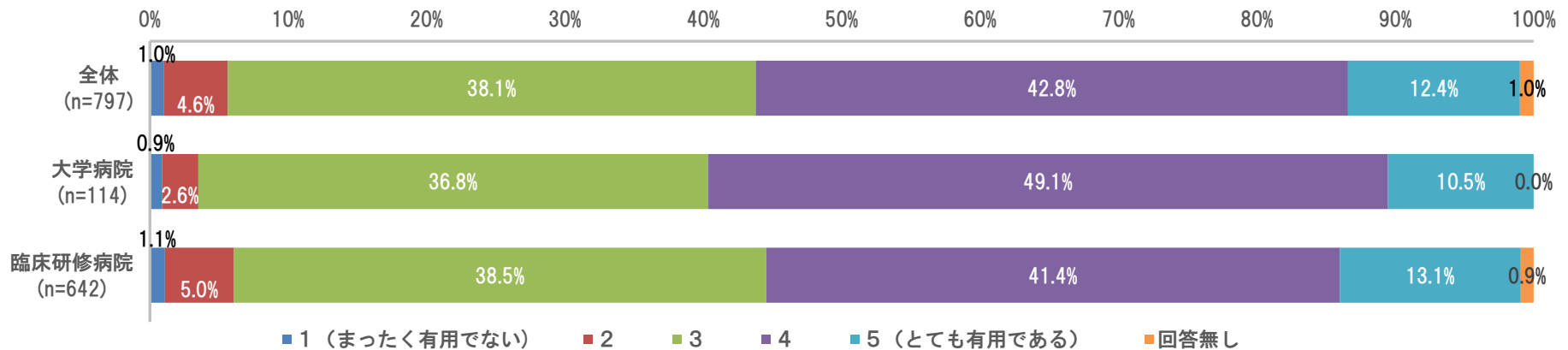


令和2年度からの臨床研修制度見直しが研修医に与える影響について

「基本的診療業務」は研修医の目標として適切か

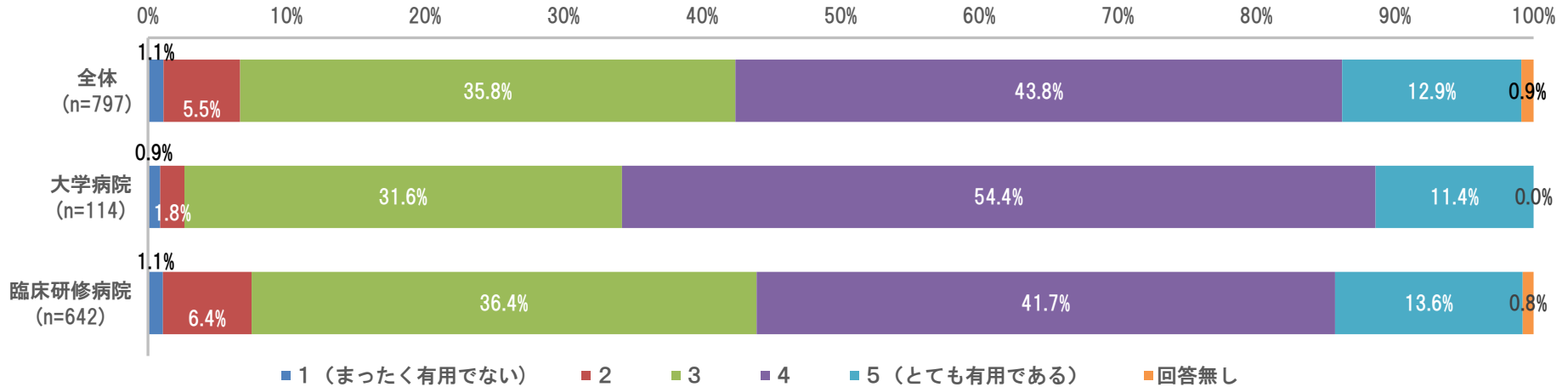


「基本的診療業務」の評価票は研修医評価の際に有用か

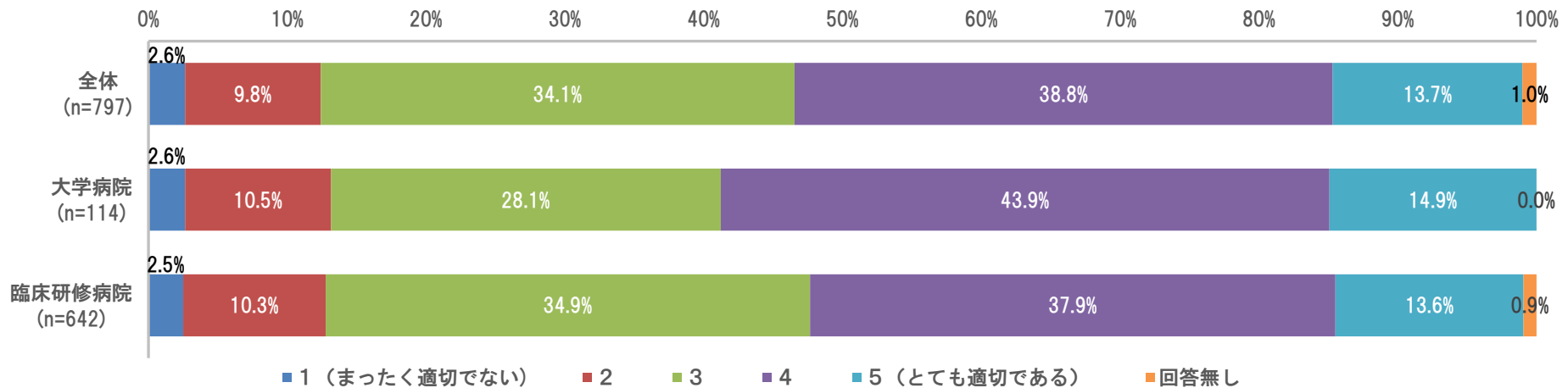


令和2年度からの臨床研修制度見直しが研修医に与える影響について

「臨床研修の目標の達成度判定票」は修了判定の実施に有用か

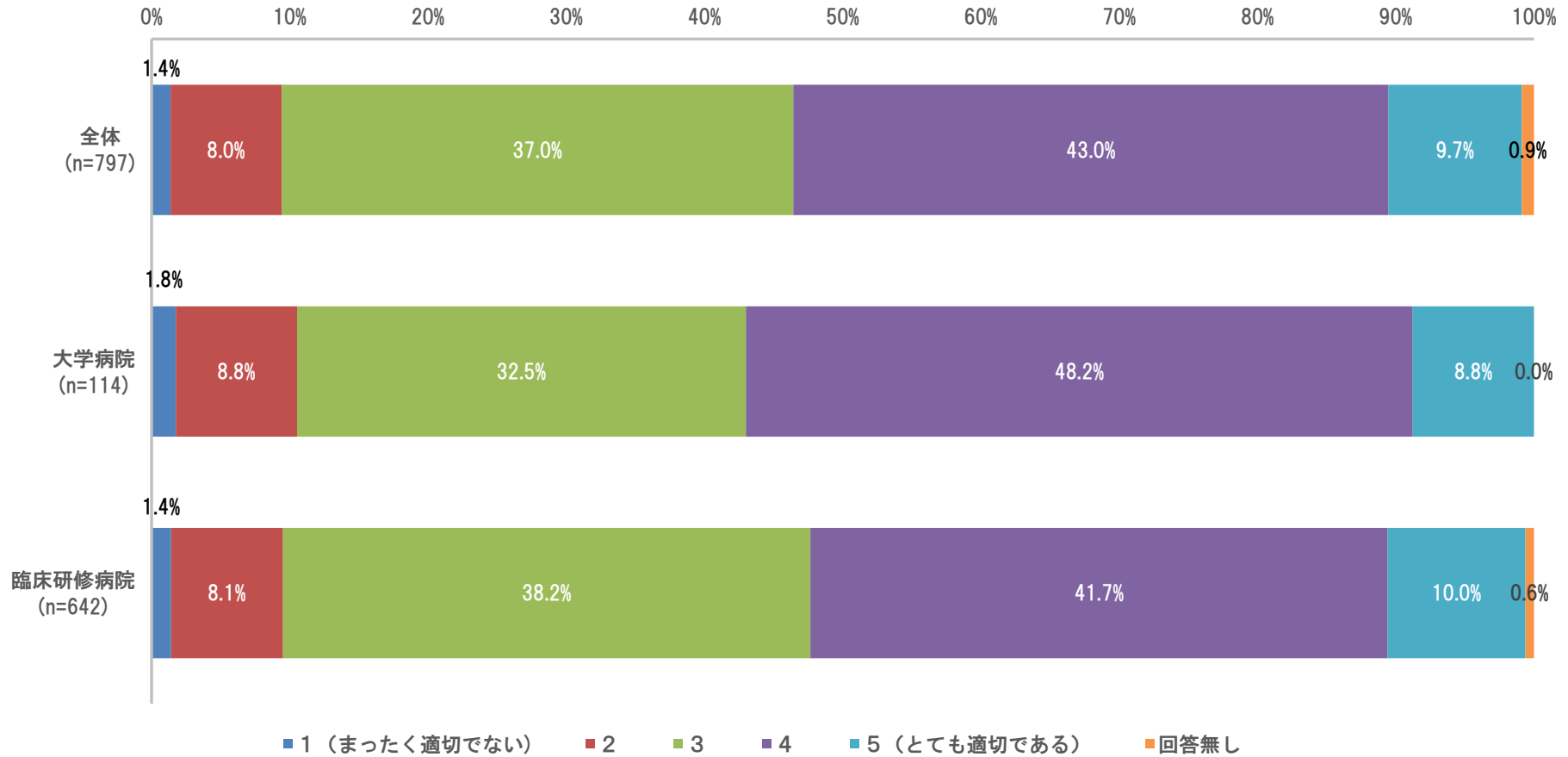


方略として研修する診療科・分野を増やしたことは適切か



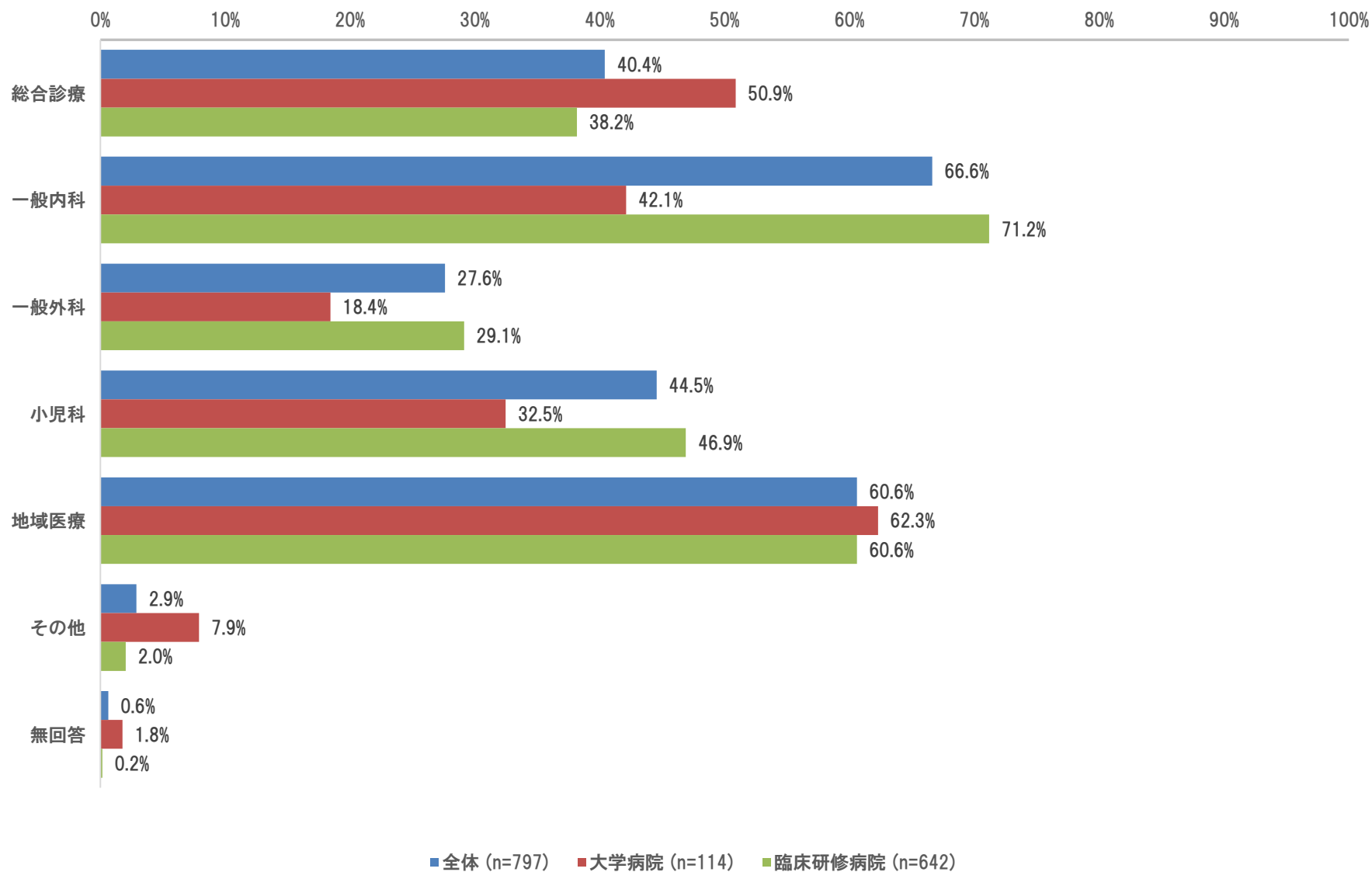
令和2年度からの臨床研修制度見直しが研修医に与える影響について

今回の見直しは、総体として、研修医の総合的な診療能力を向上させるために適切か



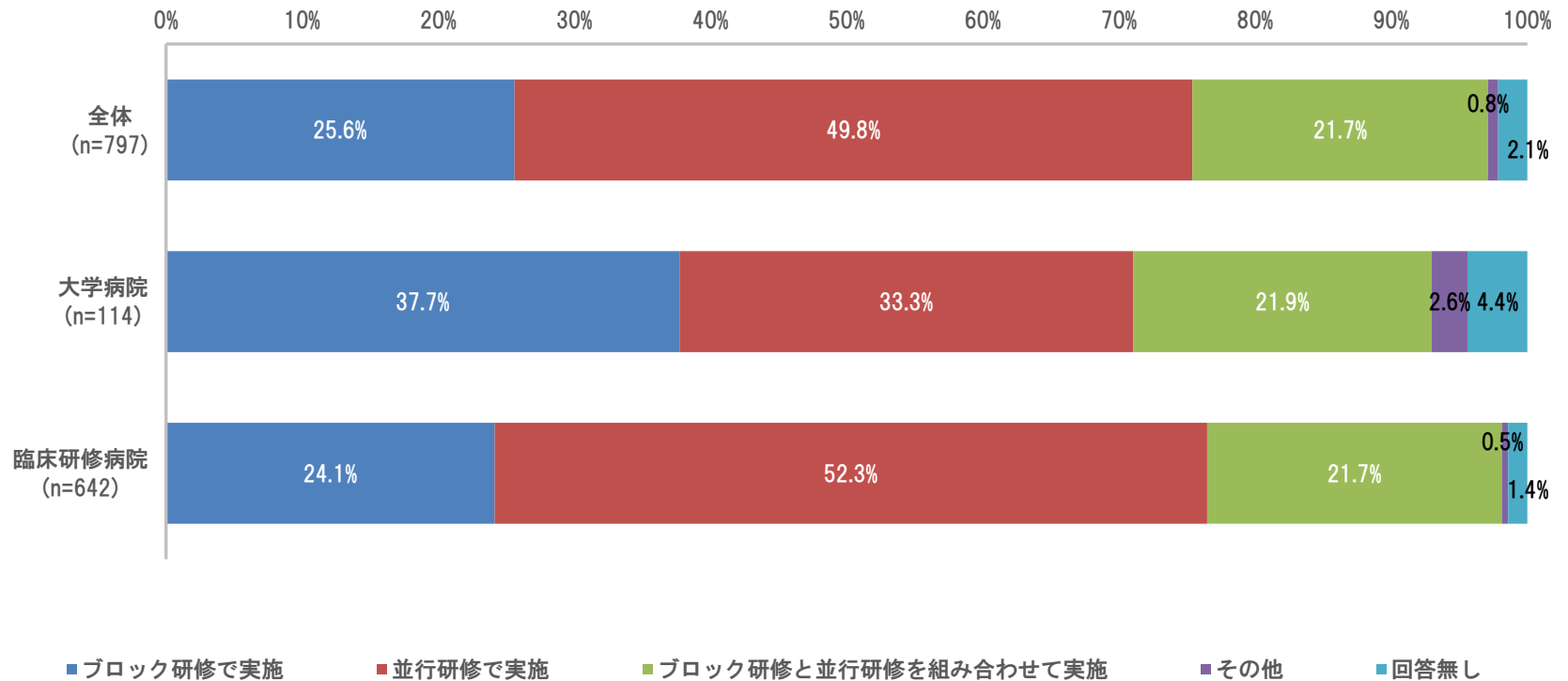
一般外来研修について

一般外来研修を実施した診療科等について（複数回答可）

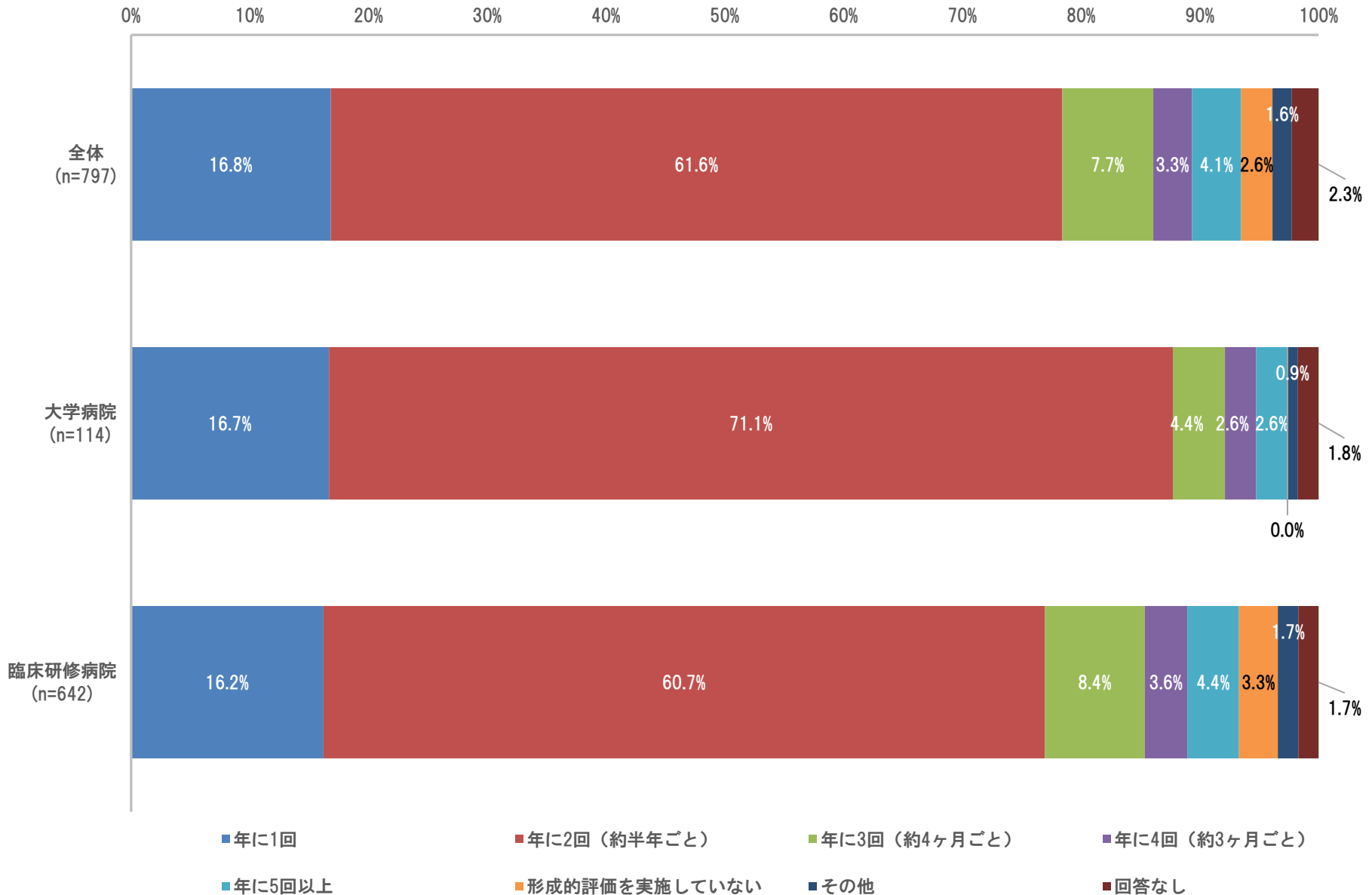


一般外来研修について

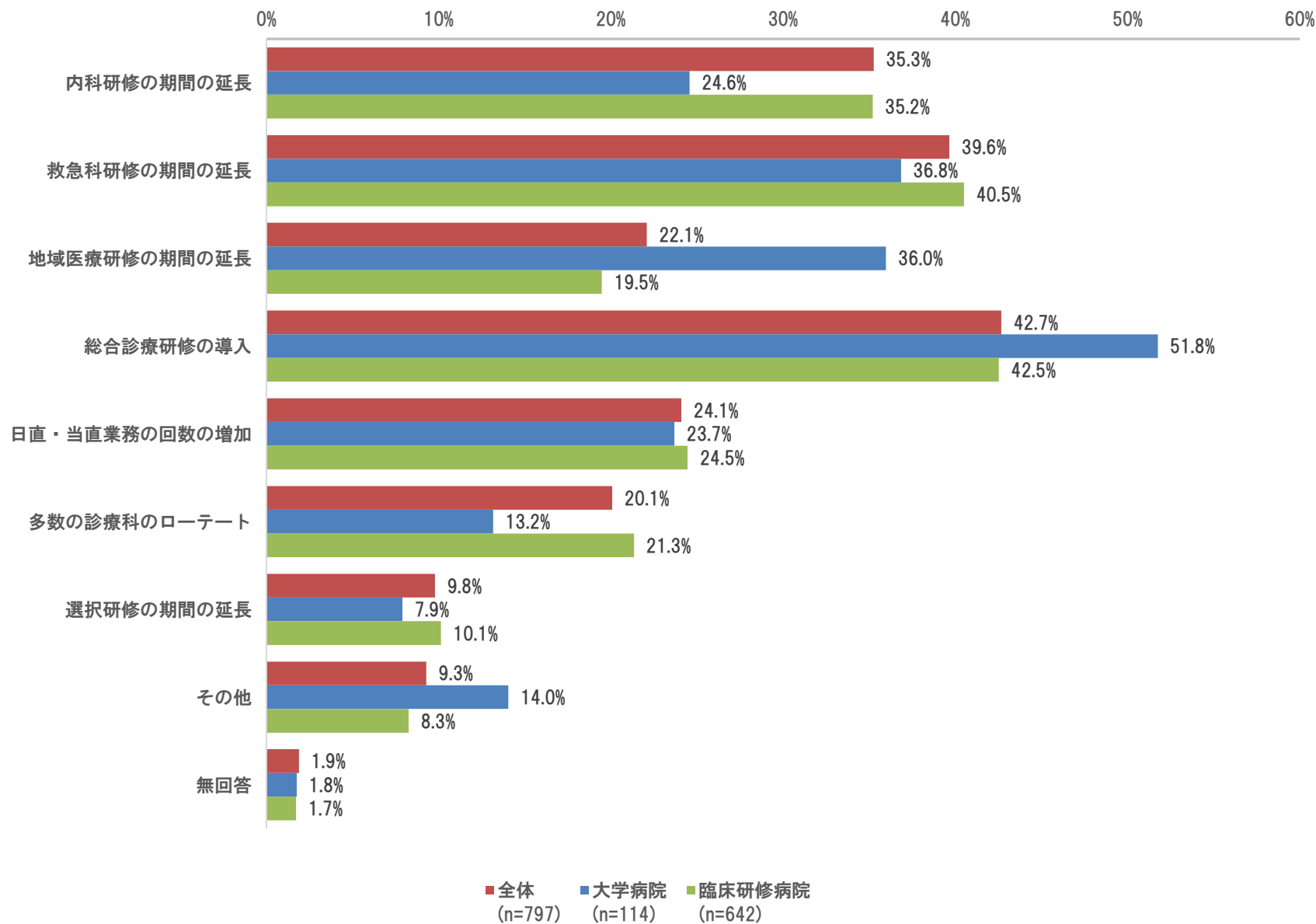
一般外来研修の実施方法



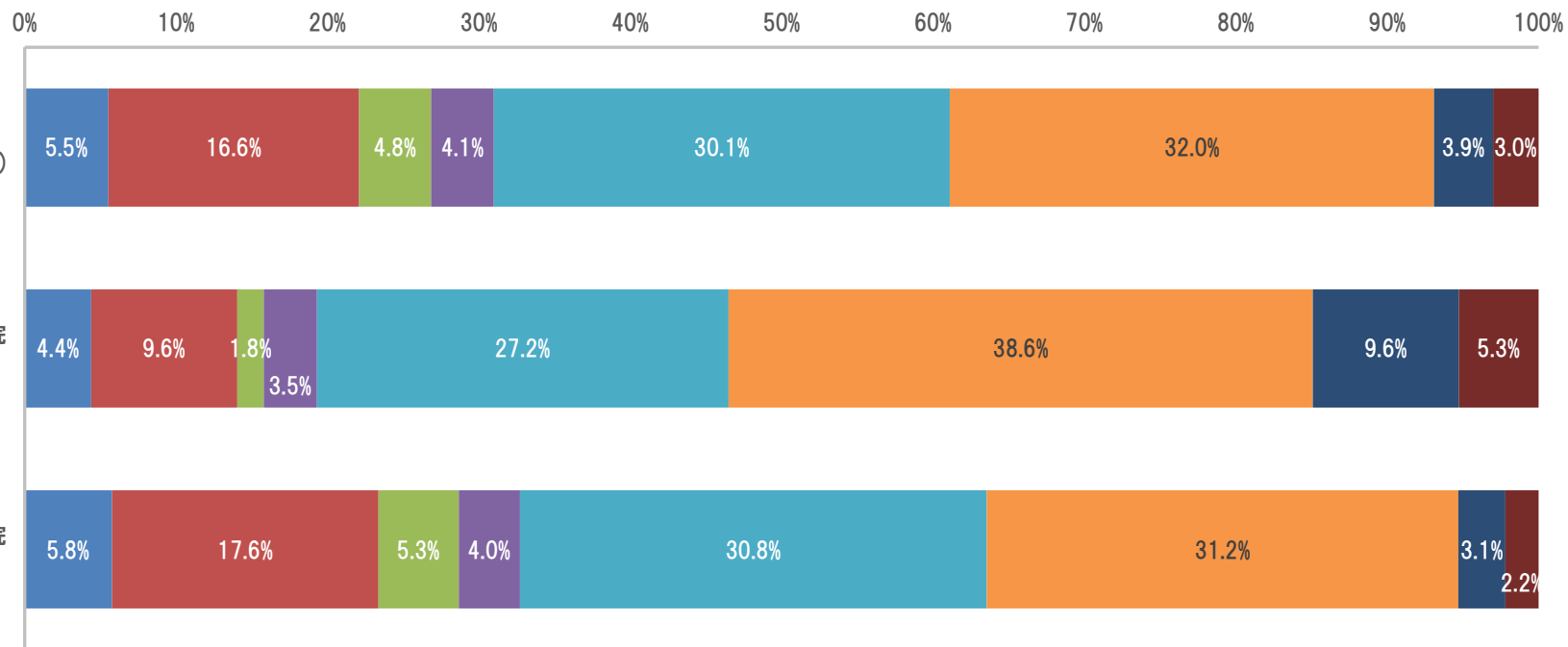
研修医に対する形式的評価（フィードバック）を行った頻度



プライマリ・ケア能力を育成するために重要だと思うこと（複数回答可）



令和2年度からの臨床研修の到達目標を達成するために、臨床研修を行う場として適切だと考える病院の所在と規模



■ 医療資源の比較的乏しい地域の200床未満の病院

■ 医療資源の比較的乏しい地域の200～400床未満の病院

■ 医療資源の比較的乏しい地域の400床以上の病院

■ 医療資源の比較的豊富な地域の200床未満の病院

■ 医療資源の比較的豊富な地域の200～400床未満の病院

■ 医療資源の比較的豊富な地域の400床以上の病院

■ その他

■ 無回答

日本医療教育プログラム推進機構（JAMEP）が実施する 「基本的臨床能力評価試験」導入状況

